

## 令和元年度京都大学教室系技術職員研修（体感型安全教育）報告書

### 1. はじめに

令和元年度京都大学教室系技術職員研修（体感型安全教育）が令和2年2月13日（木）に茨城県筑西市の日立化成テクノサービス株式会社にて行われました。

参加者は27名で、同社が提供している豊富な体感型安全教育講座から項目を選択し、A：爆発・化学系で1グループとB：高所・騒音系で2グループの計3グループに分かれて受講しました。

今回の研修は、教室系技術職員に対し、職務に必要な高度の専門知識及び技術等を修得させ、資質の向上と応用能力の開発を図る事を目的としております。特に今回の研修では、職場で発生する可能性がある危険を実際に体験することによって、労働災害を未然に防ぐ能力の習得を目的として実施しました。実際に「体感」する事で危険に対する意識が高まり、今後の職場環境の改善や職務のより安全な実施が大いに期待できる内容でした。

最後に本研修を受け入れ、特別に写真撮影を許可していただいた日立化成テクノサービス株式会社のご好意にこの場を借りて深く感謝します。



講座開始時の全体説明



保護具・服装点検

### 2. 日程

令和2年2月13日（水）

- |            |  |
|------------|--|
| 8：15       | 集合、茨城県筑西市小川、JR水戸線 川島駅<br>研修場所、日立化成テクノサービス株式会社へ移動<br>研修会場にて準備 |
| 8：40       | 保護具・服装点検   |
| 8：45～12：00 | 講座受講 途中10分程度の休憩あり  |
| 12：00      | 終了次第、現地解散  |

受講カリキュラム

講座カリキュラム

2/13(木)AM	A グループ(9名)			B1 グループ (9名)			B2 グループ (9名)		
	(宮田)(坂野)	所要時間		(外山)(新井)	所要時間		(北島)(永塚)	所要時間	
		区分	累積		区分	累積		区分	累積
08 : ~ 40	集合			集合			集合		
08 : 40 ~ 45	保護具・服装点検(5分)	5	5	保護具・服装点検(5分)	5	5	保護具・服装点検(5分)	5	5
08 : 45 ~ 50	F 爆発危険(15分) ・溶剤爆発 ・粉塵発火			E 高所危険(35分) ・脚立の安全な使用方法 ・脚立作業の危険性 アンバランス昇降 片手昇降			H 騒音体感 (20分) ・騒音解説 ・騒音体感 ・耳栓効果		
08 : 50 ~ 55									
08 : 55 ~ 00									
09 : 00 ~ 05	G 玉掛け・クレーン危険 (20分) ・玉掛け危険 ・吊荷落下 ・荷ぶれ危険			J 保護具の正しい使用方法 (15分) J 保護具装着			C 電気危険 (30分) ・感電 ・静電気 ・漏電 ・蛇足、過電流		
09 : 05 ~ 10									
09 : 10 ~ 15									
09 : 15 ~ 20	J 両面グラインダー危険 (5分)								
09 : 20 ~ 25	J ディスクグラインダー危険 (5分)	05	45						
09 : 25 ~ 30	J 偏芯グラインダー危険 (5分)	05	55						
09 : 30 ~ 35	J スパナの正しい使用方法 (10分)								
09 : 35 ~ 40									
09 : 40 ~ 45		10	65						
09 : 45 ~ 50	C 電気危険 (30分) ・感電 ・静電気 ・漏電 ・蛇足、過電流			D 高所危険 (45分) ・安全帯使用 ぶら下がり (胴ベルト)(フルハーネス) ・高所飛来 ハンマー落下 ・高所落下 人形落下 ・落下物衝撃 ネット受け ・高所足場歩行 高所作業			E 高所危険(35分) ・脚立の安全な使用方法 ・脚立作業の危険性 アンバランス昇降 片手昇降		
09 : 50 ~ 55									
09 : 55 ~ 00									
10 : 00 ~ 05									
10 : 05 ~ 10									
10 : 10 ~ 15		30	95						
10 : 15 ~ 20	休憩(10分)						J 保護具の正しい使用方法 (15分) J 保護具装着		
10 : 20 ~ 25		10	105	休憩(10分)					
10 : 25 ~ 30	E 高所危険(35分) ・脚立の安全な使用方法 ・脚立作業の危険性 アンバランス昇降 片手昇降			G 玉掛け・クレーン危険 (20分) ・玉掛け危険 ・吊荷落下 ・荷ぶれ危険			J スパナの正しい使用方法 (10分)		
10 : 30 ~ 35									
10 : 35 ~ 40									
10 : 35 ~ 40									
10 : 40 ~ 45									
10 : 45 ~ 50							J ディスクグラインダー危険 (5分)	05	130
10 : 50 ~ 55									
10 : 55 ~ 00		35	140	H 騒音体感 (20分) ・騒音解説 ・騒音体感 ・耳栓効果					
11 : 00 ~ 05	J 保護具の正しい使用方法 (15分) J 保護具装着			C 電気危険 (30分) ・感電 ・静電気 ・漏電 ・蛇足、過電流			D 高所危険 (45分) ・安全帯使用 ぶら下がり (胴ベルト)(フルハーネス) ・高所飛来 ハンマー落下 ・高所落下 人形落下 ・落下物衝撃 ネット受け ・高所足場歩行 高所作業		
11 : 05 ~ 10									
11 : 10 ~ 15									
11 : 15 ~ 20	J 薬瓶危険解説 (10分)	10	165						
11 : 20 ~ 25									
11 : 25 ~ 30	K 化学危険 (30分) ・硫酸の取り扱い ・水酸化ナトリウム危険 ・電熱器危険 耐熱体感 ・液体窒素の取り扱い 酸欠 ・用具取り扱い			J スパナの正しい使用方法 (10分)			G 玉掛け・クレーン危険 (20分) ・玉掛け危険 ・吊荷落下 ・荷ぶれ危険		
11 : 30 ~ 35									
11 : 35 ~ 40									
11 : 40 ~ 45									
11 : 45 ~ 50									
11 : 50 ~ 55		30	195	J ディスクグラインダー危険 (5分)	05	195			
11 : 55 ~ 00	アンケート・閉会			アンケート・閉会			アンケート・閉会		

## 3. 参加者名簿

\* 所属等は令和2年2月13日現在

所 属	氏 名	グループ	所属専門技術群
複合原子力科学研究所技術室	上田 哲也	A 爆発・化学系	第5 専門技術群
複合原子力科学研究所技術室	白鳥 篤樹	B1 高所・騒音系	第5 専門技術群
複合原子力科学研究所技術室	富永 悠太	A 爆発・化学系	第5 専門技術群
人間・環境学研究科	下野 智史	A 爆発・化学系	第3 専門技術群
人間・環境学研究科	高橋 輝雄	B2 高所・騒音系	第2 専門技術群
人間・環境学研究科	有村 恭平	B2 高所・騒音系	第2 専門技術群
医学研究科附属総合解剖センター	國領 久美子	A 爆発・化学系	第4 専門技術群
医学研究科附属総合解剖センター	木村 清二	B1 高所・騒音系	第4 専門技術群
薬学研究科	松下 淳	A 爆発・化学系	第4 専門技術群
ウイルス・再生医科学研究所	渋谷 翔	A 爆発・化学系	第4 専門技術群
ウイルス・再生医科学研究所	吉田 暖	A 爆発・化学系	第4 専門技術群
ウイルス・再生医科学研究所	宮地 均	B1 高所・騒音系	第4 専門技術群
理学研究科附属地球熱学研究施設	吉川 慎	B1 高所・騒音系	第2 専門技術群
理学研究科附属地球熱学研究施設	井上 寛之	B1 高所・騒音系	第2 専門技術群
農学研究科附属農場	岡本 憲茂	B1 高所・騒音系	第4 専門技術群
農学研究科附属農場	安田 実加	B1 高所・騒音系	第4 専門技術群
農学研究科附属農場	西川 浩次	A 爆発・化学系	第4 専門技術群
農学研究科附属農場	黒澤 俊	B1 高所・騒音系	第4 専門技術群
農学研究科附属牧場	北村 祥子	B1 高所・騒音系	第4 専門技術群
フィールド科学教育研究センター	岡部 芳彦	B2 高所・騒音系	第4 専門技術群
フィールド科学教育研究センター	境 慎二郎	B2 高所・騒音系	第4 専門技術群
フィールド科学教育研究センター	中川 智之	B2 高所・騒音系	第4 専門技術群
エネルギー理工学研究所	大村 高正	A 爆発・化学系	第2 専門技術群
防災研究所技術室	中本 幹大	B2 高所・騒音系	第2 専門技術群
防災研究所技術室	宮町 凜太郎	B2 高所・騒音系	第2 専門技術群
防災研究所技術室	米田 格	B2 高所・騒音系	第2 専門技術群
工学研究科	平野 裕一	B2 高所・騒音系	第2 専門技術群

※「高所・騒音系」コースはB1とB2の2グループに分かれて受講した。

